

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和7年8月28日（木）

2 確認箇所

- ・サブドレン集水タンク（No. 1～No. 7）（図1）
- ・日本海溝津波対策防潮堤（1～4号機東側、4号機南側）（図1）

3 確認項目

- （1）サブドレン集水タンクの現況
- （2）日本海溝津波防潮堤設置の状況

4 確認結果の概要

（1）サブドレン集水タンクの現況

東京電力では、原子炉建屋等への地下水の流入を低減させるため、1～4号機原子炉建屋周辺等に設置した井戸（以下「サブドレン」という。）等から地下水を汲み上げ、浄化設備で放射性物質を除去した後、海へ排水している。

本日は、サブドレン等から汲み上げた地下水を一時的に貯水するサブドレン集水タンクの現況を確認した。（前回確認：[令和6年10月2日](#)）

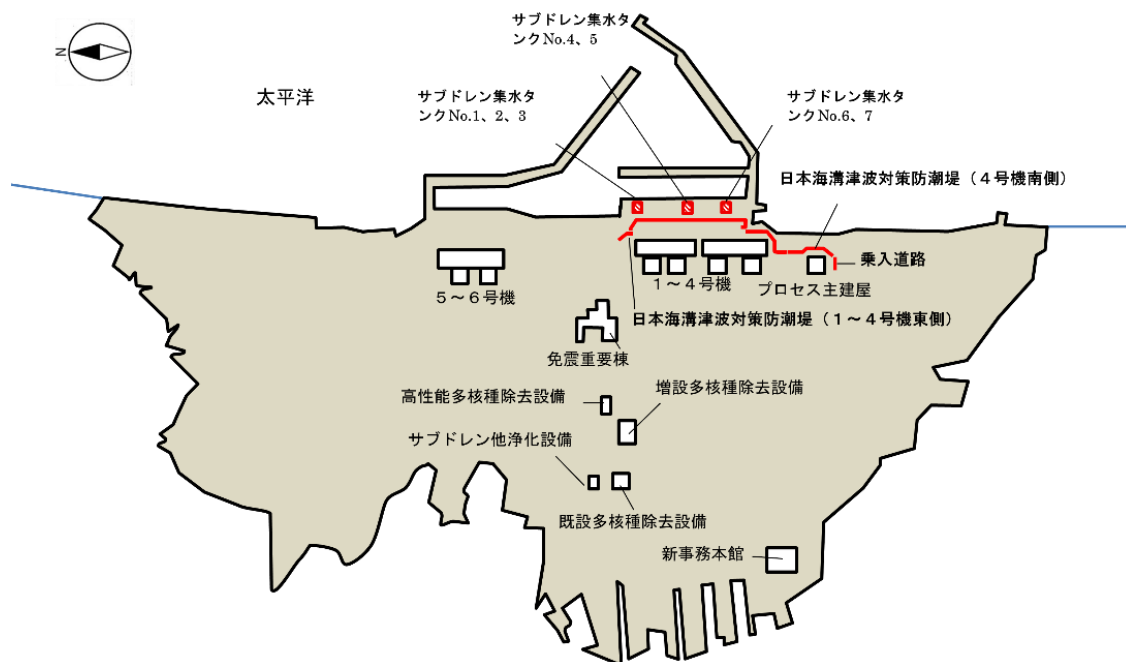
- ・集水タンクは1～4号機東側の護岸周辺に計7基設置され、1号機タービン建屋東側に3基（No. 1～3）、2号機タービン建屋東側に2基（No. 4～5）、3号機タービン建屋東側に2基（No. 6～7）設置されていた。（写真1）
- ・集水タンクは高さ3m程度のコンクリート堰で囲われており、コンクリート堰上部には屋根が設置されていた。
- ・確認した範囲において、タンクや屋根に損傷等はなかった。

（2）日本海溝津波対策防潮堤設置の状況

令和2年4月に内閣府「日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震モデル検討会」が日本海溝津波の発生が切迫していると評価したことを踏まえ、東京電力は、T.P. 11.8m規模と想定される日本海溝津波に対する備えとして、令和3年6月21日から日本海溝津波対策防潮堤の設置を進めてきた。

令和6年3月15日に日本海溝津波対策防潮堤の設置工事が完了したことから、設置状況の確認を行った。（前回確認：[令和7年4月8日](#)）

- ・確認した範囲で防潮堤及び路面に亀裂や陥没はなかった。（写真2）
- ・防潮堤の高さを上回る津波が襲来した際に防潮堤内側の海水を排水するフラップゲートは、可動部に錆等は生じておらず手動で容易に動作することを確認した。（写真3）



(図 1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真 1 ①) 集水タンクNo.4及び5



(写真 1 ②) 集水タンクNo.6及び7



(写真 2 ①) 防潮堤の状況 (海側)



(写真 2 ②) 防潮堤の状況 (陸側)



(写真 2 ③) 防潮堤海側通路の状況



(写真 2 ④) 防潮堤上面通路の状況



(写真 3 ①) フラップゲートの状況 (海側)



(写真 3 ②) フラップゲートの状況 (陸側)

5 プラント関連パラメータ等確認

本日確認したデータについて、異常値は確認されなかった。